

ウクライナの復興を担う学生を北九州で学ばせたい

～北九州でできることをみんなで ウクライナ学生支援の募金を開始～

ウクライナの政情不安は続き、“北九州でできること”を行動に移す必要があります。

日本の学生と同じ目的をもって学んでいるウクライナの未来を担う学生を北九州市立大学で受け入れることで、ウクライナの明るい未来の創造を支援するための募金を開始しました。

ウクライナでは戦争でまちが破壊され続けています。

今後は、復興を担う人材が必要となります。ついては、本学で、ウクライナからの学生を受け入れ、都市計画に関する教育・研究だけでなく、市民参加のまちづくりや復興について市民交流や実践活動を交えながら体感的に学び、将来の復興に活かしてもらうことを目指しています。

いただいた募金は、本学で学ぶウクライナ留学生の生活資金支援に使用させていただきます。



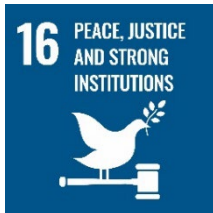
➤ 概要

[募金方法]

- ✧ 目標金額： 計 1,110 万円
- ✧ 募金用途： 5名の学生（ウクライナからの本学留学生）の約2年間の生活費、渡航費等
- ✧ 募金期間： 2022年8月～
- ✧ 募金方法： 下記の募金専用口座に振込み
 - ・募金は1口1000円からお願いします
 - ・福岡銀行口座からのお振込み及び福岡銀行の窓口で現金振込みの場合、振込手数料が無料になります。（窓口では、振込み金額により、身分証明の提示を求められる場合があります）
 - ・税制優遇を受けることはできません

振込先情報

口座名義/ ウクライナ学生を北九州で応援する会
代表者 DEWANCKER BART JULIEN
振込口座/ 福岡銀行ひびきの支店（普通）115665



[受入れ学生について]

- ✧ 対象学生： リヴィウ工科大学（国立大学）建築とデザインインスティテュート（リヴィウ市ウクライナ）他を予定
- ✧ 受入れ予定数： 5名
- ✧ 滞在期間： 2023年4月から2年間（予定）
- ✧ 滞在中の活動： 北九州市立大学ひびきのキャンパスでの調査研究、市内企業へのインターンシップ、市民交流事業参加、復興地視察研修等

➤ 企画 ウクライナ学生を北九州で応援する会

（構成/北九州市立大学、特定非営利活動法人北九州ビオトープ・ネットワーク研究会）

問合せ デワンカー バート（北九州市立大学国際環境工学部建築デザイン学科・教授）
電話/ 093-695-3245 メール/ bart@kitakyu-u.ac.jp
安枝 裕司（特定非営利活動法人北九州ビオトープ・ネットワーク研究会・事務局長）
電話/ 090-1870-3299 メール/ yasueda@gmail.com